

お知らせ FROM 雑賀幼稚園

R5年3月



3/16
(木)

修了証書授与式

風光る旅立ちの春を迎え、修了証書授与式を終えました。7名の子どもたちに修了証書を渡しました。式では、まず一人一人の良いところや成長したところを話しました。そして、これからも応援している気持ちを伝え、小学校生活へのはなむけの言葉を贈りました。



3/8
(水)

お別れ遠足に出かけました

年長組親子で北公園に行きました。ぽかぽか陽気の中で思う存分遊びました。



3/10
(金)

年長さんありがとうの会

ばら組（年中）とたんぽぽ組（年少）からゆり組（年長）へ、ありがとうの気持ちをこめてプレゼントを渡しました。



【御礼】



更生保護女性会より、卒園児に手作りの人形をいただきました。ありがとうございました。



Coffee Break

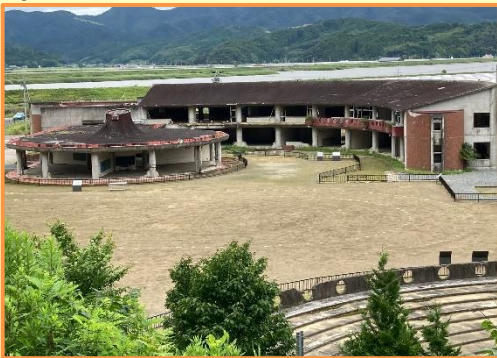


「51分間に何があったのか知りたい」との思いで、昨夏9年ぶりに石巻市大川小学校を訪ねました。津波で6年生の娘を亡くした佐藤敏郎さんに案内してもらい話を聴きました。女川中の教師をしていた佐藤さんは、2日後に大川小に辿り着きました。

「校庭のここにランドセルが並べられ、その横にブルーシートが…」。沈黙の時間が流れました。裏山の下に津波到達点の表示がありました。1年生でも上れる斜面、校庭から徒歩2分。避難していたら助かっていたことを確信しました。それなのになぜ。佐藤さんの語りは答えの一つかもしれません。「非常時には、誰かの声が支配してしまう。裏山に逃げようと言った先生の声は届かなかった。大丈夫、大丈夫と言った先生の声が全体を支配した」。

地震発生14時46分。津波は北上川を3.7km遡上し15時37分、学校に到達。川の近くにある平地へと避難を始めて1分後のことでした。児童74名（うち1名行方不明）、教職員10名の命が奪われました。卒業生の声が力となり、大川小は震災遺構として残ることになりました。新たに伝承館もできました。「大切なことは、何かが起こった時に考えるのではなく、事前の備えとマニュアル作り」。佐藤さんから何度となく出た言葉です。

「11年経っても心の整理がつきません」。佐藤さんはしみじみと語りました。節目は大切なものですが、軽々に使ってはいけないと、佐藤さんから教わったような気がします。



裏山から見る被災した校舎

3時37分で止まった3年教室の時計

